

AJU

コンビニハウス

会報

編集/コンビニの会事務局
連絡先/〒452-0807 名古屋市西区歌里町147番地
TEL/FAX(052)505-6082(コンビニハウス)

障害をもつ人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人
コンビニの会

定価/150円

昭和54年8月1日第三種郵便物承認

第175号



夏の彩り、冷やし中華(名古屋市のマチ中華にて)

トキメキの冷やし中華

フリー編集者 佐宗 圭子

夏らしい料理はいろいろあるが、アイスは年中食べているし、鰻は高価で何度も行けない。そうめんは定番すぎる。その点、冷やし中華は庶民的でありながら華があり、酢を効かせた味が夏向きだ。「冷やし中華始めた」の貼り紙に夏を感じる方も多いだろう。

冷やし中華の起源は中国の冷やし麺らしいが、作り方や味が独自で、昭和初期に生まれた日本の料理と考えられている。トマトやきゅうりなどの夏野菜、錦糸卵、ハムやチャーシュ、蒸し鶏、えびなど多彩な細切りの具材が、麺の丘から放射状に並ぶ様子に心が踊る。

茹でた麺を冷やして水切り、卵を焼いて具を細く切るなど手順が多く大変だ。近所の老夫婦が営むマチ中華でも冷やし中華は夏の人気メニューだ。注文時に、奥さんが明るい笑顔ながら、やや微妙な表情を浮かべていることを私は見逃さなかった。

(次ページ)

ラーメンと比べて100円ほど値段は高く設定しているものの、手間を考えるとコスパが良いとは言えない。しかし客が喜ぶからメニューから外せないのだろう。そんな中でも出来上がりはいつも丁寧でおいしい。ナルトの細切りとチエリーの人工的な色合いに、祭りや花火、かき氷などの、駆けていく若い夏の風物が連想され趣深い。

さて、今やコンビニの冷やし中華には当たり前のようにマヨネーズが付く。いわゆる「冷やし中華にマヨネーズ問題」は中日新聞（2007年9月3日）の記事に詳しい。スガキヤ（本社名古屋市中区）がマヨネーズ味を加えた冷やしラーメンを1957年に発売し、65年頃から脇に添えるスタイルに変更。それがいつのまにか若者のマヨネーズ文化に乗り、関東と九州以外の全国に広まつたという。つまり、時代を取りした名古屋発信の味というわけだが、私自身はマヨネーズなし、からしたつぶり、海苔はのせてほしい派である。



名古屋市内の庶民的な食堂の冷やし中華（650円）。

具はしいたけ煮、かまぼこ、紅生姜、錦糸卵、ハム、トマト、きゅうり、刻み海苔、刻みネギ、氷一つ、マヨネーズ

雑記
ごまめの歯ぎしり

大きな客船のように

昨年の十二月、五年前に亡くなつた市江由紀子さんを偲ぶ会がVOLLO歌里のサロンで開かれました。私は初めてこの施設を訪れ、懐かしい仲間と再会することができました。広々とした素晴らしい施設を案内された時、あの頃（三十年程前）を思い出しました。

1996年、名古屋市西区江向町にコンビニハウスが開所された当初から2007年に木曽に移るまでの十一年間、私は家事ボランティアとしてコンビニの会に関わりました。コンビニハウスは、二階建ての一般的な住宅でしたので、アットホームな雰囲気がありました。利用者さんは、私たち家事ボランティアの会に近所の知り合いのおばさんがご飯を作りに来たように感じていたのでしょうか。「泊まつていつたら」と言われたこともあります。ただ、トイレもお風呂も狭く（後に改修された）、介助される方もする方も大変だったと思います。大学生の介助ボランティアさんたちは介助方法を学びながら、利用者さんと友人のような関係を築いていきました。「今日はAさんのリクエストで○○へ行つて来ました」「Bさんにこんな変化がありました」。彼らは失敗談も含めて笑顔で話してくれました。「電気ポットの水をどれくらい入れたらいですか？」と聞かれた時には、ちょっとびっくりしましたが（笑）、コンビニの家族の一員になつたような気がして、家事ボラに行くのが楽しみでした。

私が木曽に来て十八年。その間に、コンビニの会はエゼル福祉会として生まれ変わりました。新しいニーズをすくい上げ荒波を乗り越えていく、大きな客船のような役割を果たしています。大所帯になつても、一人ひとりが夢を持ち、同じ目的地に向かって進んでいただきたいと思います。これからもエゼル福祉会の皆さんにエールを送り続けます！（支援者 上村 明美）

エゼル福祉会の評議員である村田さんに
ご自身の経験と障害福祉に対する思いにつ
いて書いていただきました。



今思つこと

住み慣れた地域で 生活を送りたい

エゼル福祉会 評議員
村田 昌史

三十代半ばでみなと福祉会副理事長（当
時）の磯崎さんと出会い、作業所づくりに加
わるとともに様々な活動をしてきました。無
認可施設“しおかぜ”がしおかぜ作業所と
して認可され、私は磯崎さんの推薦でイルカ
作業所の所長として勤務することになりました。
した。障害者雇用が難しい時代に職員として
の仕事を得たことに磯崎さんとみなと福祉
会に感謝しています。

じ、みなと福祉会の中で居宅介護事業所ネット
ワークみなと（以下みなし）を作りました。
名古屋市の事業所指定を受け、大川さんたち
が立ち上げた名古屋生活支援事業所連絡会
へ加盟しました。みなしの活動により地域の
ヘルパーさんの支援・協力を家族の要望につ
なげることができたと思っています。これら
の活動を通してエゼル福祉会の評議員を引
受けることになりました。

エゼル福祉会の評議委員会の資料には必
ずインデックスが貼ってあり会議にスムー
ズに参加できています。その他、色々な場面
でも心遣いに感謝しています。コンビニハウ
スが個人と向き合うことを大事にしてきた
理念がエゼル福祉会に研修等を通して引き
継がれていると感じます。

七十代になり首から肩、背中、股関節にか
がり自分らしく生きていきたいと願っています。
名古屋に来たのは心理学を学ぶために大
きな身体は筋緊張が増し、生活が厳しくなつて
いますが、これからも皆さんのお力を借りな
がら自分らしく生きていきたいと願っています。

進行しているため座位をとると痛みが強くなり、部屋にいる時はほとんどの時間は横になつて過ごしています。ヘルパーさんのお世話にならないと生活が成り立たない状況にあります。しかし、介護業界の人材不足から私の生活と合わせず、ヘルパーさんの時間に合わせざるを得ないです。利用者として現在3つの事業所と契約していますが、計画書以外にスポーツでヘルパーさんの追加派遣をお願いしても地理的条件により訪問は難しいと断られてしまいます。その課題を解決するには私が生活している地域で協力者を探すことだと考えます。

1年前まではまれに転倒することはありましたが何とか一人で移動できました。最近はヘルパーさんなしでの移動に不安を感じます。毎日横になつているばかりでは筋力低下を招くため少しでも歩くようにしていますが、この先は間違いなく近距離も歩くことは難しくなるでしょう。だからこそ住み慣れた地域で生活を送るための協力者が必要となるのです。これは私だけの問題ではないと思います。

先日、私の生活実態に沿つた重度訪問介護の時間数を支給して欲しいと区役所へ行きました。以前、更新手続きを行つた時には生活状況を話す中で時間数は足りていますかと聞いてくれた方もいましたが、いつも誠実な対応をしてくれるわけではありません。今回の話し合いの中で納得出来ないことはヘルパーさんを募集するため大学に行く時に足元が不安定のためヘルパーさんの同行を（その他の外出36時間内）で利用することについての見解の相違です。区役所の見解はヘルパー等募集のために大学へ行くことは経済活動になるから認める、とはできないと言うのです。（※）以前、聞いた時には何も言われませんでしたからこれ以上話しても無駄だと思い、名古屋市に聞いてみますと言つて区役所をあとにしました。これらの活動は経済活動でなく小さな啓発活動だと思つていますし、住み慣れた地域で生活を送るための手段だと思っています。

最後になりましたが、評議員になる機会をいただきたことを感謝し、私の経験がエゼル福祉会の活動に役立つよう今後もがんばります。

（※）障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準（平成十八年厚生労働省告示第五百二十三号）において、重度訪問介護、同行援護及び行動援護は、「通勤、営業活動等の経済活動に係る外出、通年かつ長期にわたる外出及び社会通念上適当でない外出」以外の外出時における移動中の介護等を行つた場合には、報酬上、算定できるものとされてい。

灯台もと暗し

エゼル福祉会 理事長

大川 美知子

「私が聞きたかったのはフラメンコギターだった」と、残念な感想が寄せられました。そこで、フラメンコギター奏者探しを始めましたが、中々フラメンコギターの演奏ができません。「フラメンコギターが存在しているとは思ってもいませんでした。

用者さんです。確かにS子さんのお父様が音楽活動をしておられる話は聞いていたのですが、こんな身近にフラメンコギターの奏者が存在しているとは思ってもいませんでした。

奏者は引っ張りだこなので」とみんなが口を揃えます。

9月がどんどん近づいて来るのに演奏家は見つからない。諦めかけた時に、「見つかりました!!」との嬉しい知らせに安堵しました。

紹介者に依ると、S子さんのお父様はフラメンコギターの先生で、この地域でも一番の演奏者だとのことでした。本当に「灯台もと暗し」です。9月6日の音楽サロン、フラメンコギター演奏会にご期待下さい。

エゼル福祉会では、毎月第一土曜日、様々なジャンルの演奏家を招いてコンサートを開催していますが、毎月すぐに席が埋まってしまうほど好評を得ています。ちなみに6月はクラシックピアノの演奏があり、7月は津軽三味線の演奏、8月はチエロの演奏、9月はフラメンコギターの演奏と続きます。

ある時、音楽サロンで「私、ギターの演奏が聞きたいわ」とのリクエストがあり、ある方にギタリストの紹介をお願いしました。早くギターの演奏会が開かれましたが、後日



W—I—L—Lを選んで

上田 利香



上田咲歩の母の上田利香です。ご依頼を受け少し娘のことについてお話をさせていただこうと思います。

娘の咲歩は自閉症です。今22歳です。背も高めで体格がよく、食べ物の好き嫌いがない元気な子です。中1で生理が始まつた頃からイライラが強まり（PMS、月経前症候群が強めだと分かりました）自傷他害行為が増えました。中学までは地域の支援級に在籍しておりました。

西養護学校（現在・西特別支援学校）高等部に入学し、1年生の時より夏休みから卒業

後の進路として実習先を選んで行くことが必要との話があり、親が選び基本学校は資料の配布はあれどノータッチなのだと知りました。実習先がそのまま卒業後の進路になるのがベストだと思ったので、重視したのは①家からの距離と通いやすさ

②作業以外の活動が充実しているか

③本人にとって興味の持てる作業があるかでした。3箇所行きましたが総合的に考えて、

咲歩の好きなパズルに似た作業でお菓子を数えたりまとめたりする作業のある事業所に3年間実習で通わせていただき、咲歩も実習中楽しそうに作業もできていたのでそのまま卒業後もお世話になることにしました。

しかし咲歩の卒業年はコロナウイルスの始まりの年で、最後の学生生活も色々なことに制約がありました。それは卒業後も同じで、コロナで余暇活動が全くなくなってしまつた。ホームページからメールで連絡をと

た事業所に毎日通所するうち、実習中は意欲的に作業していた咲歩も毎日となるとだんだん作業をやらなくなり、ただ行つて帰るだけの通所が続きました。満員電車に乗り、そこからまた長く歩く通所で、体力作りやイライラ発散のためにはいいのですがヘルパーさんに頼めない日私が連れて行くのも色々気遣わなくてはならず、かなりストレスでした。

り、咲歩と見学、お試しで実習の流れでした。実習は2日間で1日は朝から帰りまで付き添わなくてはならずなかなか大変でした。でも咲歩と見学に行つた際、施設の環境や仲間の皆さん、職員さんたちがとても良かつたのでもうここしかない!と思つたので頑張りました。咲歩にもイライラが強くてもカタログはがし、という破壊してもいい作業(笑)があるのと環境的に逃げ場があるのがいいなど思いました。その後通所の承諾を無事いただくことができ、余暇活動もカラオケや散歩、おでかけなど楽しみにしながら自傷他害行為もほとんどなくなり安定して通所できております。お給料(工賃)で本人の好きなWILLの仲間が作るお菓子を買って帰るのも楽しみのひとつになりました。

思えばコロナは誤算でしたが、私は咲歩に事業所選びで高望みをしたのかもしれない

と思いました。親がこうあつてほしい、頑張つたらできるかも、と思う気持ちが強かつたのかもしれません。そして本人の気持ちが落ち着く環境が何より大切なと思いました。

場所を選ぶのは親でも通うのは本人であり、自分の感情をうまく言葉では話せない娘にとって、その場で表出する態度が本人の思いの全てです。笑顔で通所し帰つてくる今の咲歩を見ていて本当に良かったなど、WILLには本当に感謝しております。

上田咲歩さんの支援を振り返って

通所 WILL 大森直子

咲歩さんがWILLに通い始めたのは、2022年4月。最初は、仕事ができない日があつたり、帰宅時間になつてもなかなか帰れなかつたり、パニックで自傷や他害につながつてしまつこともあります。

今は私も安心して毎日送り出しております。事業所選びは大変かもしれませんのがつてみなければ分からることはあり、合わなければ変わればいいだけのこと。絶対ずっとここだと思わずには選択肢を広げるのもいいのではないかなと思います。以上拙い文章ですが読んでくださいありがとうございまし

慣れない環境に落ち着かず、咲歩さんが逃げ込んだ場所はトイレでした。WILLのトイレはエアコンが完備されていて、車いすの方も利用されるので、かなり広くて快適です。その当時の咲歩さんを一人にしておくのは不安があつたので、職員も中に入り、長い時

いました。親がこうあつてほしい、頑張つたらできるかも、と思う気持ちが強かつたのかもしれません。そして本人の気持ちが落ち着く環境が何より大切なと思いました。場所を選ぶのは親でも通うのは本人であり、自分の感情をうまく言葉では話せない娘にとって、その場で表出する態度が本人の思いの全てです。笑顔で通所し帰つてくる今の咲歩を見ていて本当に良かったなど、WILLには本当に感謝しております。

咲歩さんがWILLに通い始めたのは、2022年4月。最初は、仕事ができない日があつたり、帰宅時間になつてもなかなか帰れなかつたり、パニックで自傷や他害につながつてしまつこともあります。

慣れない環境に落ち着かず、咲歩さんが逃げ込んだ場所はトイレでした。WILLのトイレはエアコンが完備されていて、車いすの方も利用されるので、かなり広くて快適です。その当時の咲歩さんを一人にしておくのは不安があつたので、職員も中に入り、長い時

は1時間以上一緒に「」もる」ともありました。

「家族から教えていただいた言葉遊びを繰り返したり、好きだと聞いていた歌を歌つてみたり、トイレの中は、咲歩さんと職員が1対1でじっくり向き合じ、お互いの関係を作っていく場所になりました。

タイミングを見て「作業室に戻ろう」と声を掛けると「いかない！」と返され、「お仕事しよう」と声を掛けると「やらない！」と返され、咲歩さんのトイレ「もりは」続きました。

ある時、「いかない！」「やらない！」と言うのも咲歩さんの意思だと考え、尊重してみよう、必ず明るく「いいよ！」と返すことになりました。初めて「いいよ！」と返した時、咲歩さんは少しひっくりしたように見えました。

「いかない！」「いいよ！」「やらない！」

「いいよ！」という会話を何十回も何百回も繰り返し、咲歩さんが今、何に困っているのかを考え、どうすれば安心できるのか、どうすれば一步を踏み出せるのか職員みんなで試行錯誤を繰り返し、トイレに「」もる時間は徐々に少なくなっていました。

今では作業室で一日仕事をして、お昼は皆

とTVを見て、余暇活動ではカラオケが楽しみなようです。帰り道にヘルパーとマクドナルドに寄り道する楽しみも見つけました。一緒にお仕事をしながら、「今日はマックで何食べるの？」「ポテト！」と会話するのが楽しく、私もとても嬉しい時間です。

咲歩さんは、名前に「咲く」という文字があるように、その笑顔で周りをぱつと華やかな温かい気持ちにしてくれます。そして「歩く」という文字にあるように、ゆっくりゆつ



(左) 上田咲歩さん (右) 大森

ぐり周りを確かめながら、でも着実に成長していくかれる人だと感じています。私たち支援者に気付きと温かい気持ちを与えてくれる咲歩さんと、これからも一緒に歩き続けていきたいと思っています。咲歩さん、ご家族の皆さま、WILLを選んでくれてありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。

会報 174 号で掲載しました【障害のあるわが子の進路先を考える】セミナーのチラシを掲載しました。掲載内容に誤りがありましたので、ここで訂正しあび申し上げます。

【訂正前】日時 2025年9月6日

【訂正後】日時 2025年9月3日

お申込みはチラシにあるQRコード、お電話で受け付けております。

わが子にふさわしい
将来は・・・

【障害のあるわが子の進路先を考える】

～日中活動の場を選ぶ指針とは～

参加費無料

日時 2025年9月3日 AM 10:00～PM 13:30

場所 イープルなごや
(名古屋市男女平等参画推進センター・女性会館)

講師 新美 貴久氏 (名古屋市障害企画課 課長)

参加団体

①社会福祉法人 名北福祉会(北区) ②社会福祉法人 エゼル福祉会(西区)
 ③社会福祉法人 やまびこ福祉会(中村区) ④社会福祉法人 あいうえおハウス(瑞穂区)
 ⑤社会福祉法人 みなと福祉会(港区) ⑥社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館(南区)

プログラム

10:00	開会挨拶
10:15～11:00	講演 「我が子にふさわしい進路選択を考える」
11:00～11:15	質疑応答
11:15～12:15	各法人の事業紹介
12:15～12:45	事業所への質問
12:45～13:30	各ブースでの相談会

お申込みは電話または
QRコードより
お申込みください→

<https://forms.gle/N3m5bNcajgzG7Un9>

お問い合わせ・お申込み **052-505-6082**
進路対策社会福祉法人ネットワーク



《活動状況》

5月

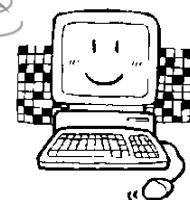
- 6日 WILL・VOLO 祝日開所
- 3日 サロン開催
- 7日 愛知淑徳大学二宮先生来所 動作法
- 11日 重度訪問介護従業者養成研修(2日目)
- 12日 連絡調整会議
- 16日 建設委員会
- 18日 重度訪問介護従業者養成研修(3日目)
- 20日 評議員選任・解任委員会
- 20.21日 サービス管理責任者研修 (榊原芳)
- 21日 愛知淑徳大学二宮先生来所 動作法
- 22日 親の会
- 24日 介護福祉士会 地域生活共生研修講師
(溝口)
- 26日 会報発送
監事会
- 27日 社協 虐待防止研修 (石原友)
- 27日 血友病勉強会 (講師:服部)
- 28日 建設委員会
- 31日 理事会

6月

- 4日 会報会議
- 7日 音楽サロン開催
演奏者 加藤麻里さん (ピアノ)
- 7日 サンホープまつり出店 (製菓販売)
- 9日 建設委員会
- 9日 連絡調整会議
- 11日 愛知淑徳大学二宮先生来所 動作法
- 15日 評議員会
生活支援部 バーベキューレク
- 18日 通所利用者 健康診断
- 18日 むつみグリーンハウス様VOLO見学
- 21日 理事会
- 21日 就職フェア ウインクあいち (榊原芳)
- 23日 建設委員会
- 25日 愛知淑徳大学二宮先生来所 動作法
- 26日 NPOコンビニの会 理事会
- 28日 同朋大学 ソーシャルスキル
トレーニング講座 (佐藤幸)
- 30日 天白特別支援学校訪問 (大川・榊原芳)



事務局コーナー



「ご協力ありがとうございました」

5月～6月（敬称略・順不同）

★ ご寄付いただいた方々

(NPO 法人コンビニの会)

※会報購読料 1万円以上お振込みの方

伊藤衿子 中島温子

長柄伸子 塚原玄織

新地豊子 堀部裕子

渥美 弥 滝藤建設株

ライフ＆ワーカスチャオ Amalfi

★ 物品寄付をいただいた方々

(コンビニハウス)

安永麻里 鈴木丈登 塩澤しのか

石原まち 東原光江 山田肥名子

滝藤建設株

(WILL)

上田咲歩 安藤麻那美 親の会

(VOL)

安永麻里 塩澤しのか 小出朱里

高嶋 颯 久保昂太朗 高田真由美

早川佳乃 長野資子 服部いづみ

遠藤真衣子



★ 活動にご協力いただいた方々

石原正寅 田村淳仁 佐藤晴紀

石原まち 寺西 剛 鈴木千春

東原光江 山本 武 我妻勇男

辻本道子 村瀬万帆 酒井まみ子

白木佑叡 尾崎杏香 榊原つぐみ

小林愛恵 杉井志織 北出麻衣

桐澤 潮 重松歩月 玉那覇詠洸

小西涼真 大塚幸子 青島優津樹

早川あい 伊藤葉月 牛田楓乃

坂木夢菜 大倉晴菜 井伊裕美

原田浩平 藤本茉優 内山俊吾

鈴木心透 長谷川美緒

岩鼻海斗 山崎ゆき奈

★ 会報発送ボランティア

丹羽正子 佐藤美紀子

★ 地域サロンボランティア

伊藤葉月 田原朋代

福祉マンション「さんび」建設状況

2025年7月時点

場所：名古屋市西区中小田井二丁目 431 番地



(全景) 7月～8月に1階部分、9月に2階部分、10月に3階部分の
躯体工事計画になっています ※注：奥の建物はさんびではありません



(建物のピット内) 給排水管や電気
配線などの設備を収容・メンテナン
スするために設けられた空間です



(西側部分) これから境界に
ブロックを立てます

【銀行口座】

三菱UFJ銀行 小田井支店 店番 238 (普) 口座番号 1440108
特定非営利活動法人 コンビニの会

【郵便振替口座】番号 00800-2-35190 コンビニの会

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。

障害のある人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

コンビニの会

理事 宮川 優子

〒452-0807 名古屋市西区歌里町 147 番地

コンビニハウス Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082

URL <https://ezeru.or.jp/>

E-mail convini@ezeru.or.jp

